

# 学校だより



平成29年度 第43号

下野市立南河内中学校  
発行者 日下田 英彦  
H30. 3. 14

## 3月の俳句 日常と答辞に込めて卒業す

年森 恭子

(続) 感動の卒業式、立派な3年生でした。

前号では卒業式の様子を写真で紹介しましたが、今号では、生徒の皆さんが書いてくれた感想から、卒業式での思いを紹介します。紙面に載せきれないぐらい、長い感想を書いてくれた生徒が多くいました。一部省略して紹介していますが、感動の卒業式は、1, 2年生の心にも残るものが多くあったのではないのでしょうか。

卒業式を終えて皆が感動できるような式にできて嬉しかったです。練習は少ししかできなかったけれど、本番で私たちの思いがきちんと伝わったことが、3年生の涙から感じ取れました。掃除で床を拭いたり、階段をきれいにしている意味があるのかなと思ったけれど、3年生が感動している姿を見て、やってよかったなと思いました。

卒業式中に3年生との思い出が何度もよみがえってきて、涙がでそうになりましたが、3年生への思いがつまった歌や、リコーダーやメッセージをきちんと伝えられるように、涙をこらえました。小学校の6年間、卒業式で涙がでそうになったことは一度もなかったけれど、中学生になって初めて涙をこらえました。来年は今年よりももっとよい卒業式ができるように、もっと細かいところにまで気をつけて誰もが感動できる、南河内中生でよかったなと思えるような卒業式にしたいと思いました。  
1年1組 高橋 大空

僕は卒業式を終えて、感動するよい卒業式になってよかったなと思いました。毎朝、呼びかけの練習をするのに、7時20分に学校に来て、最初は正直少しだけ面倒くさいと思いました。ですが練習を重ねていくたびに、「もっと上手くなって3年生を喜ばせてあげよう」、「感動できる呼びかけをできるようにしよう」と思うようになってきました。

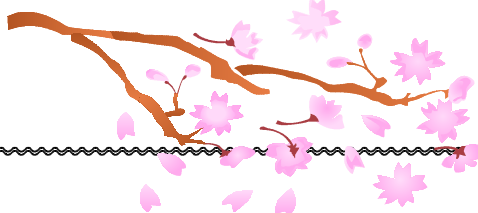
準備をしていて、僕は「完璧な式場にしたい」と思いました。だから細かいところなどもしっかり掃除しました。その掃除をしているときに、1組の石島さんがみんなに、「しっかり掃除して！」などと声をかけていてすごくよいことだなと思いました。

そして、本番を迎えました。ずっと練習していたリコーダーや歌はうまくできたと思いましたが、呼びかけの時、あんなに練習したのにうまく話すことができませんでした。でも、3年生はみんな泣いて退場していったので、感動するよい卒業式になったなと思いました。来年は、在校生の代表の2年生になって3年生を送り出すので、今年よりももっとよい卒業式にします。  
1年1組 永吉 颯

中学生になって初めての卒業式でした。まず、小学校の卒業式とは全く違い、とても緊張感がありました。卒業式は大成功だったと思います。3年生の卒業証書の受け方、返事、姿勢どれを見てもかっこいいなと思いました。改めて中学校の卒業というものを実感しました。

練習のときから、歌い方、作法など限られた練習の時間をまじめに取り組み、1日前の清掃の時、みんなが自ら進んで仕事を探したり、与えられた仕事を全うしたりと、こういうところにも卒業式が成功に終わった理由があると思います。でも何より、1, 2年生が感謝の気持ちをもって卒業式に臨んだからだと思います。

自分は卒業式で初めて泣きました。今まで当たり前のように一緒に生活していた3年生、当たり前のように話してくださった3年生、当たり前の毎日がなくなると思い、3年生の後ろ姿を見たら、自然と一気に涙があふれてきました。困った時や悩んだ時に3年生が気遣ってくれました。本当に感謝しています。生まれて初めて当たり前の毎日の大切さがわかりました。自分は3年生と過ごした日々、そして今年の卒業式を一生忘れません。今年の卒業式を心に刻み、来年の卒業式をさらによく感動する卒業式にできるよう頑張ります。  
1年2組 秋山 竜輝



私は初めて中学校の卒業式にでましたが、感動しました。最初は不安が多かったけれど、だんだんなくなってきて、最終的にはとても素晴らしい卒業式を迎えることができたので嬉しかったです。とてもすばらしくすてきだと思いました。特に呼びかけ、花吹雪での演出、そしてリコーダーでのサライ。とても感動的でした。呼びかけでは“ありがとうございました”しか言うことがなくても、気持ちがこもってればすばらしいものになると改めて考え直すことができたし、代表の人が泣いているのを見てとても感動しました。サライを演奏しているときにたくさんの先輩が涙を流しているのを見て、私も指がとまり、涙があふれそうになりました。その時、先輩のありがたさや悲しみなど、先輩への感謝の気持ちがこみ上げてきました。

これまで私は、小学校も含め今回で7回目の卒業式ですが、こんなに感動した卒業式は初めてでした。来年は私たちが中心になるので、今年を越えるようなものにしたいと思いました。また、その伝統をこれから入ってくる後輩に伝えて、私たちの卒業式はもっとすばらしいものにしてほしいです。本当に素晴らしい卒業式でした。 1年2組 上野 花菜

今年の卒業式では、僕はサンキュー・ハーモニー委員として、歌の練習を仕切ったり、会場準備の中心となって働いたり、花吹雪をまいたりと多くの仕事をしました。今までお世話になった3年生、仲よくしてくれた3年生へ感謝を伝えられるよう、一生懸命頑張りました。3年生に涙を流してもらえるよう、後輩の1年生を引っ張ってこれるように、合唱では3年生や保護者の方々に感動してもらえるように歌いました。卒業式を終えて次は僕たち2年生が最上級生になります。これからは、南河内中学校の大黒柱として3年生のように1、2年生から目標とされるような、尊敬されるような先輩になりたいです。

2年1組 和泉 帆高

私はとてもいい卒業式だったなと思っています。卒業式で3年生が卒業証書もらう時の返事がとてもハキハキとしていて、「さすが3年生だな」と感じました。私も来年は、今年の3年生に負けないくらい、大きくハキハキした返事をしたいと思います。南河内中学校のホームページを見て、3年生が卒業式の練習をしている写真を見つけました。3年生の真剣に取り組む姿を見て、卒業式がどれほど大切な式わかりました。

私はサンキュー・ハーモニー実行委員で体育館のシートの調節や花吹雪の花作りをやったりしました。会場が素敵になってよかったし、3年生が喜んでくれたので嬉しかったです。実行委員や卒業式が無事終わってよかったです。卒業した3年生がいなくなってしまい、今度は私たちが3年生となり最上級生となります。優しくて、後輩の手本となるような生活を送りたいです。

2年1組 伊藤 らみい



